福井県青少年愛護審議会（全体会）議事録

１　開催日時

令和４年１１月２５日（金）午前１０時００分～午前１１時３０分

２　開催場所

福井県職員会館ビル　１階１０１・１０２会議室

３　出席者

(1)　委員　１３人

戎会長、安彦智史委員、近藤修委員、佐々木雅代委員、島嵜正行委員、清水祥三委員、多田直子委員、中西美和子委員、根岸輝尚委員、藤井真津美委員、本堂実玲委員、見谷智恵委員、山本裕一委員

（欠席　井上満枝委員、小川晶裕委員、岸俊行委員、熊本絢子委員、佐々木英江委員、西尾幸代委員、吉田淳夫委員）

(2)　幹事　４人

大岸和裕幹事、松倉伸雄幹事、三崎光昭幹事（代理）、山﨑良成幹事（代理）

(3)　事務局　４人

前川県民安全課長、ほか課員３人

４　部会委員の指名

事務局から修正案が示され、案のとおり了承された。

５　報告内容

有害図書等の緊急指定に係る報告（福井県青少年愛護条例第４８条第２項）

(1)　有害興行の指定に係る報告

事務局から、７月に有害興行として緊急指定した映画２作品、８月に有害興行として緊急指定した映画２作品、９月に有害興行として緊急指定した映画１作品、１０月に有害興行として緊急指定した映画３作品、指定経緯および指定理由についての報告がなされ、了承された。

(2)　ビデオ等の包括指定に係る報告

事務局から、６月分の有害図書等として包括指定したビデオ等１，００７作品、７月分の有害図書等として包括指定したビデオ等１，１１２作品、８

月分の有害図書等として包括指定したビデオ等１，１３８作品、９月分の有害図書等として包括指定したビデオ等９５６作品について、指定経緯および指定理由について報告がなされ、了承された。

６　審議内容

図書等の推奨・指定にかかる諮問（福井県青少年愛護条例第４８条第１項第２号）

(1)　優良図書の推奨に係る諮問

知事から優良図書等の推奨に関して諮問を受けた図書１０冊について、各委員に回覧するとともに事前審査を行った委員による事前審査の補足説明を行ったところ、１０冊を推奨することが適当との意見を得た。また、新聞に表紙がカラーで掲載される１冊を決定した。

７　意見交換

○今年度の青少年育成施策および今後の課題について

令和４年度青少年の青少年育成関係の事業について、事務局から説明がなされ、第３次子供・若者育成支援推進大綱の概要も参考に、青少年育成施策について現状の課題や今後の取り組みについて意見交換を行った。

委員からの主な発言は以下のとおり。

・居場所がなく孤立する子どもたちに寄り添う、きめ細やかな施策が必要である。

・不登校生がゲーム依存になっている場合も多いが、ゲーム依存を解決するためには、居場所が家にしかないというそもそもの原因を解決していかなければならないと考える。

・コロナ禍での休校等の影響から、青少年が学校を自分の居場所ではないと考える割合が高まっているのではないか心配である。

・ギガスクール構想により教育現場もデジタル化が進んでいるが、人と人との繋がりであるリアルな体験とのバランスを図っていきたい。

・青少年育成施策もコロナ禍の影響を受けているが、今年度は青少年の作品が家族の触れ合いや自分の気持ちをテーマにするものが増えてきたと感じる。

・ヤングケアラーも重要な問題であり、総数の把握や情報共有を図り、現状を知っていかなければならないと考える。

・コロナ禍で青少年の薬物・大麻に関する検挙数が激増しており、家庭でのコミュニケーションを密にし、犯罪の兆しを敏感に感じ取って対応してほしい。

・児童虐待の相談件数も増加しており、地域や民生委員・児童委員等で連携を図

り、早めの対応を取っていきたい。

・保護者が、児童虐待と認識していない事案もあり、認識の違いに苦慮している。